

3年保護者 様

横浜市立岩井原中学校
校長 大久保 悟

全国学力学習状況調査結果についてのお知らせ

初春の候、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、現3年生を対象に実施した全国学習状況調査の結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取組についてお知らせします。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をしていただけるようお願いいたします。

調査結果の概要

1. [国語]

国語については、「知識」に関する問題（A）、「活用」に関する（B）ともに、調査結果において、全国の平均正答率とほぼ同程度の結果を得られている。しかし、その中の各設問を見ると、突出して正答率が高いものと、大きくポイントが下回るものが、問題（A）、問題（B）どちらにも見受けられる。このことから、基礎的な知識及び思考力、判断力、表現力などの技能は育まれてきているものの、やや習得内容に偏りがあるものと考えられる。今後は結果を踏まえ、弱い部分を補いながらも、一層、基礎的な知識を高める取組、課題を解決する展開を通して技能を伸ばしていく取組といった両面からの授業が求められる。

2. [数学]

数学への関心が県・全国の平均以上の結果が得られた。理解については、県・全国の平均とともにほぼ同等の結果であったが、記述問題の無回答が目立った。基本的な計算問題はよくできているが、難しそうな問題には手を付けない生徒が多いと考えられる。

また、自分の考えを述べたり、根拠を用いて説明したりする問題への苦手意識が高いことが伺える。今後、数学に対する意識面は高い水準を保ちつつ、自ら思考し、表現する場を増やし、そのような力を培っていく必要があると感じる。そして、応用問題へ挑戦していこうとする気持ちが高まるようにしていきたい。

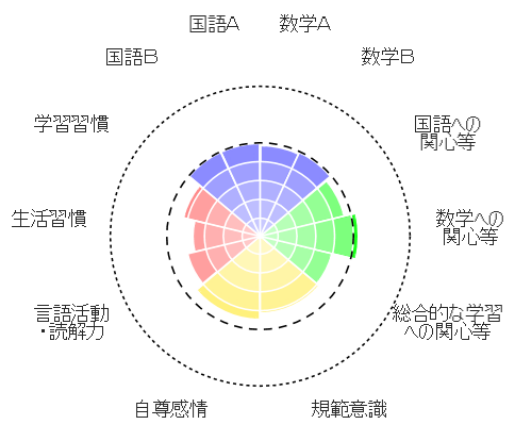
3. [生活意識]

1日にスマートフォンやテレビゲームをする時間が神奈川県・全国の平均ともに上回っている状況である。平日に家庭学習をする時間、土日に家庭学習をする時間では、平均より長い時間を学習する生徒が多い反面、学習する時間が全くない生徒の割合も大きく上回っている。

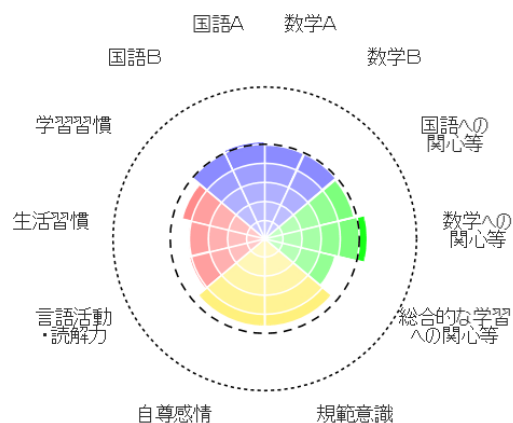
生徒の間で、学習に対する意識に大きく差があり、結果にも現れている。今後、スマートフォンの使用の仕方などといった生活習慣を見直すと共に、普段の家庭学習の時間が増えてくると更に良い結果に繋がると考えられる。

○以下の集計値／グラフは、生徒質問紙調査の結果を集計した値である。
 (内側の点線は平均を表す)

生徒質問紙 (全国基準)



生徒質問紙 (神奈川県)



[参考]昨年度実施した調査結果を重ねたグラフ
 ※黒三角・黒破線は昨年度の調査結果を示す。

